

お使いの機器を安全・安心に使用していただくために

整備機器 メンテナンスガイドブック



簡単！
整備機器
チェック
シート付



整備機器が突然故障した！

業務停止

機器停止による
業務遅延や停止

事故発生

作業員の怪我
お客様車両の破損

修理費用増

突発的な修理による
急な出費

機器を長く、安全、安心に使用するためには
メンテナンスが重要

お客様自身による 日常点検

1日の業務を安全に行うためには
日々の点検が大切！
「いつもと違う」を見落とさないためにも
始業前に点検を行いましょう。

ANZENサービスマンによる 定期点検

保守点検

予防整備

- ・プロの目線でチェック
- ・有資格者による点検

ANZENにお任せください！

ANZEN整備機器講習会

日常点検のポイントや整備機器の正しい使い方を座学・実機で説明します。

新人
研修

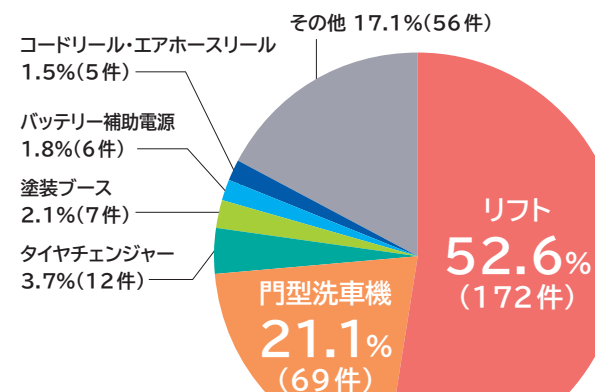
リーダー
研修

安全意識
向上



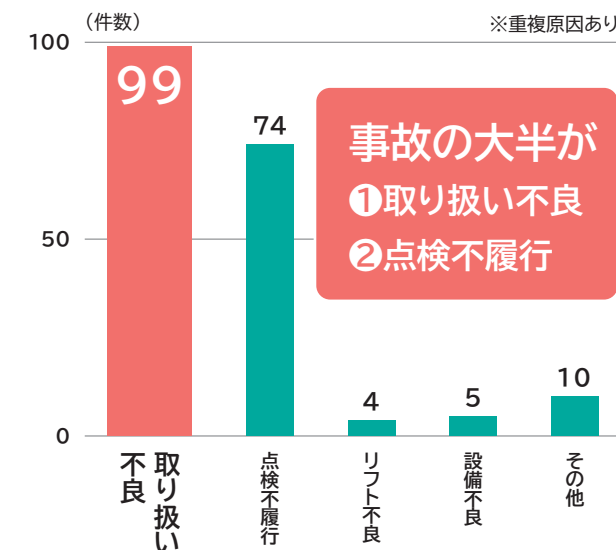
ご存知ですか？ 事故が多い整備機器とその原因

自動車整備機器による事故統計 (2013年～2022年)



リフト事故が
ダントツ！

リフト事故原因の累計 (2013年～2022年)



※重複原因あり
出典：一般社団法人 日本自動車機械工具協会

過去10年に発生した自動車整備事故では、リフト事故が一番多く発生しています。
整備機器の事故は物損や怪我だけでなく、死亡事故につながるケースも見受けられます。

「この程度は大丈夫」の判断が
事故や業務停止に繋がります。

正しい取り扱い

日常点検・定期点検

を行い、事故や故障を防ぎましょう！



整備機器講習会
～講師の声～

**整備機器の安全・
安心なご使用を**

整備機器は使用頻度により劣化が進んでいきます。『壊れていても使ってしまう』ケースが多く、正常なのかは外観からでは分かりません。この場合は専門的に見る必要があります。

整備機器事故の原因は、メンテナンス不足と取り扱い不良が大半を占めます。お客様に安心して使っていただくためには故障に気づき、それを防止しなければなりません。また、「作業を止めない」ことも大事だと考えております。長く安全・安心に整備機器をご使用いただくためには、日々の日常点検（始業前点検）だけでなく、分解

点検などの保守点検も必要になります。点検をきちんと行っているお客様からは、『不具合に気づき事故を防止できて良かった』『大きな故障を防ぎ、経費削減にもつながった』といった声も届いており、点検のメリットを実感されている声も寄せられています。今後も当社ではメンテナンスに対するご提案を行い、メカニクの安全確保とCS向上をサポートしてまいります。

リフト（乗用車・大型車）

リフトの故障が発生しやすい箇所と点検ポイントを確認しましょう。

受台ゴムの劣化

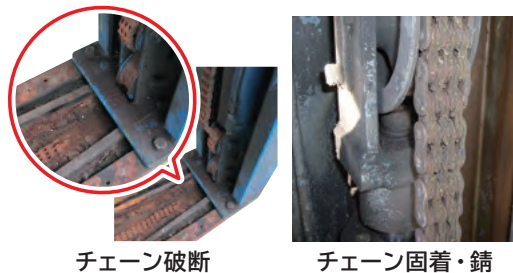


- ✓ 受台ゴムに割れや変形がないか
- ✓ 鉄板がむき出しの状態ではないか

**車両が正しくセットできず、
車両落下の原因になります。**

不具合を発見したら交換しましょう。

チェーンの固着



チェーン破断

チェーン固着・錆

- ✓ 錆が発生していないか
- ✓ 固着していないか

**チェーンが破断し
車両落下の原因になります。**

定期的に清掃や給油を行きましょう。

安全装置の故障



正常な
動作

- ✓ リフト上昇時の「カチカチ」音
- ✓ ロック装置の動作

**安全装置が正常動作せず、
車両落下し死亡事故につながる
可能性もあります。**

定期的に動作を確認しましょう。
異常を発見したらすぐにお問い合わせください。

リモコン破損



▲ケース割れ

▶ケーブル
ねじれ

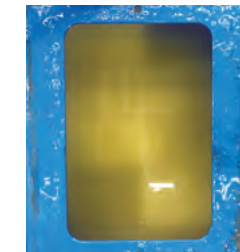
- ✓ ケースに割れがないか
- ✓ ケーブルに破損がないか

**誤作動の
原因になります。**

▶破損している場合は交換しましょう。

オイル交換

- ✓ 規定量入っているか
- ✓ 漏れはないか
- ✓ 汚れ・白濁はないか



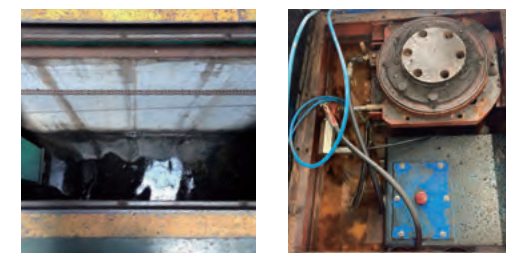
白濁したオイル

定期的な交換が
必要です。

交換目安 (メーカー 推奨)	通常仕様
	3年に1回

埋設リフト（乗用車・大型車）

ピット内水・ヘドロ溜まり



ヘドロ溜まり

水溜まり

ピット内に水やヘドロが溜まると錆や腐食が発生し作動不良の原因に。

こんなことしていませんか？

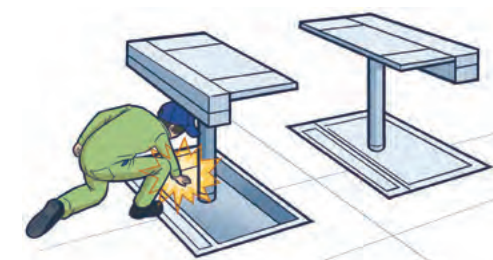
- ✓ 床掃除の水をリフトへ捨てる
- ✓ リフト上で洗車を行う ※洗車仕様を除く



水・ヘドロ溜まり事故事例

リフト付近で溶接作業を行おうとしたところ爆発事故が発生した。
ピット内のヘドロ等により可燃性ガスが発生し、火の粉が着火したためと思われる。

フラットキットの故障



フラットキット事故事例

正常に動作しておらず、メカニックが手で引き上げようとしたところ、突然動き指を挟んで負傷した。

異常を発見したらすぐにお問い合わせください。

洗浄機器

洗浄機器の故障が発生しやすい箇所と点検ポイントを確認しましょう。

水漏れ



ホース根元劣化

門型洗車機

温水洗浄機

- ✓ ポンプから水漏れがないか
- ✓ 洗浄ホース・洗浄ガンの破損・水漏れがないか
- ✓ 圧力が低下していないか

漏電や感電の原因になります。
また、水漏れにより正しい圧力での洗車ができなくなるだけでなく水道料金にも影響があります。

洗浄ブラシ

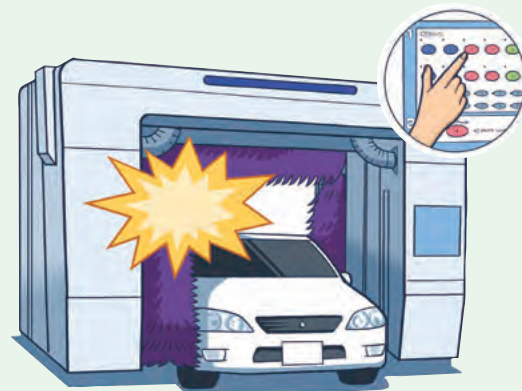


門型洗車機

- ✓ ブラシが正常に動作しているか
- ✓ ブラシに汚れがないか

車両に傷がつく原因となります。

● 門型洗車機は正しく使用しましょう！



車両の破損事故が多く発生しています。

- ✓ 対象外車両の洗車
- ✓ オプションパーツの選択忘れ

機器の故障だけでなく、車両の破損にもつながります。



洗浄機器事故事例

門型洗車機

- ✓ 車両付近で作業中のメカニックに気づかず、門型洗車機を作動させてしまい車両と門型洗車機に挟まれ負傷した。

温水洗浄機

- ✓ 水漏れに気づかず使用し、感電してしまった。
- ✓ 洗浄ガンが手から離れて暴走し、負傷した。

正しく安全に使用しましょう。



洗浄機器の凍結に注意

寒さが厳しい早朝は全国どこでも凍結の可能性があります！
凍結状態で無理に作動させると、洗浄機器の故障につながります。

凍結防止ポイント

- ✓ 終業時は水抜きを必ず行いましょう。
- ✓ 凍結防止ヒーターの動作確認をしましょう。

水が出ない！

凍結している

凍結していない

- ✓ 凍結防止ヒーター作動
- ✓ 部屋が暖まるまで待つ
- ✓ ヒーター等で温める

ノズルやポンプが故障の可能性

直らない場合は無理に作動させずに

お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

車検機器

車検機器の故障は精度に繋がります。使用前に点検を行いましょ

ヘッドライトテスター



- ✓ 水準器の気泡は円の中心にあるか
- ✓ フレネルレンズに汚れがないか
- ✓ 車輪やレールに小石や泥汚れがないか

サイドスリップテスター/BSテスター



- ✓ 踏板・ローラーに汚れやガタがないか
- ✓ エア漏れの「シュー」音はしないか

排気ガス測定器/オパシメーター



- ✓ フィルターに汚れがないか
- ✓ プローブに破損はないか
- ✓ レンズに汚れがないか (オパシメーターのみ)



⚠ プローブの長さや形状を変えてはいけません。校正時に不適合となります。



校正不適合の場合、即使用中止となります！

車検機器は年に1度、機工協^(※)の校正が必要です。不適合となると即使用中止となってしまいます。「車検機器点検資格」保有者が事前に「校正前点検」を行うことで安心して機工協の校正を受けることができます。

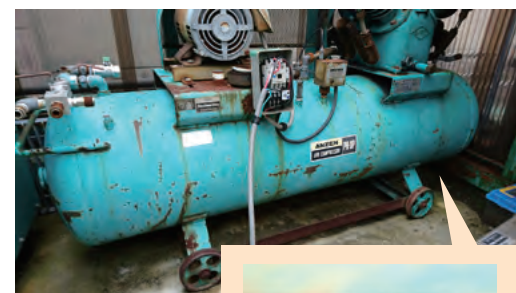
※一般社団法人 日本自動車機械工具協会



エアコンプレッサー

エアコンプレッサーが故障すると、ほとんどの整備機器が使用できなくなります。

水抜き



- ✓ タンクから水を抜いているか

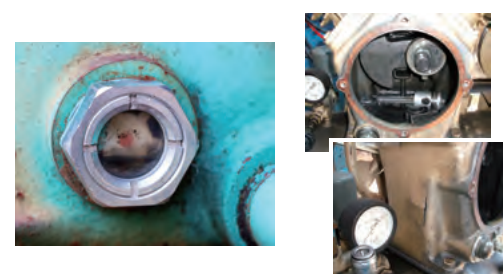
水が溜まるとタンク内に錆が発生します。また溜められるエアの量が減ってしまいます。

タンクに水が溜まると故障に繋がります。



- ✓ エアツール内に水が入り錆つき・故障
- ✓ タンクが錆により破裂

オイル交換



- ✓ 規定量入っているか
- ✓ 汚れ・白濁はないか

オイル交換不足により
圧縮機の破損につながります。



オイルはエアコンプレッサー専用のオイルを使用してください。専用オイル以外の使用は故障の原因につながります。

フィルター清掃

定期的にフィルターを清掃しましょう。エアの吸引量低下につながります。



水抜きはオートエアトラップがおすすめ

自動で水抜きを行い、タンク内に水が溜まるのを防ぎます。



定期的に水が抜けているか確認しましょう。

タイヤ・ガレージ機器

タイヤチェンジャー/ホイール balancer



- ✓ 水抜きできているか
- ✓ オイラーに適量オイルが入っているか

本体の故障につながります。

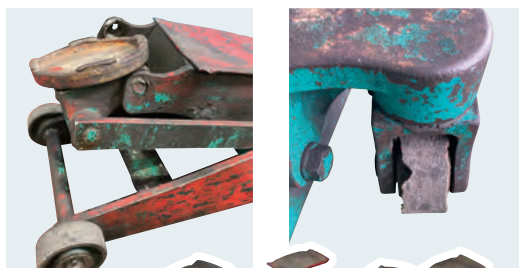
- ✓ ヘッド部やクランプに汚れや傷がないか

ホイールの傷つきにつながります。



エア充填の際にはタイヤ囲いを使用しましょう！

ガレージジャッキ/リジッドラック



ガレージジャッキ

- ✓ チャック・ホースからエア漏れはないか
- ✓ 受台や車輪の割れ・歪みはないか
- ✓ オイル漏れがないか

リジッドラック

- ✓ 受台ゴムの割れ・破損はないか
- ✓ ロックピンは純正を使用しているか

車両落下の原因になります。



正しく使用しましょう！

ガレージジャッキで車両上昇後、リジッドラックを使用せずに落車する事故が発生しています。車両上昇後は必ずリジッドラックを使用しましょう。

天井クレーン



- ✓ ワイヤーの擦れやほつれはないか
- ✓ フックの抜け止めは正常か
- ✓ 操作リモコンの割れ・破損はないか

天井クレーンは自主点検が義務付けられています。ANZENにお問い合わせください。

足回り関係

トルクレンチ/パワートルクセッター/エアゲージ



精度チェックを行っていますか？

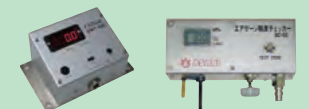
トルクレンチ/パワートルクセッターの精度が正しくないと…

- ✓ 強すぎる・弱すぎる締め付けにより車輪脱輪の原因になります。

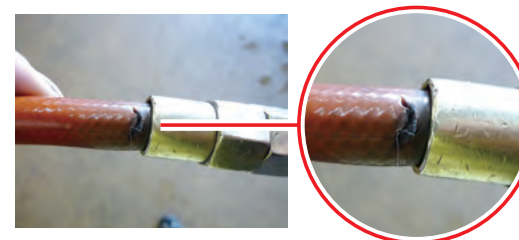
エアゲージの精度が正しくないと…

- ✓ 適正なエア充填ができず、パンクやバーストの原因になります。

1年に1度精度点検を行いましょう
ANZENにて精度チェックを行っております。



リール機器



- ✓ 本体・固定金具の破損はないか
- ✓ ホースやコードによじれはないか
- ✓ 本体からのエア漏れはないか



リール機器の破損は事故に繋がります

- ✓ エア漏れによりホースが暴れ、怪我や物損事故に繋がります。
- ✓ 配線がむき出しになり、機器誤作動や感電の恐れがあります。

お客様による日常点検が大切です！

付属の簡易点検表を使用し、始業前に点検を実施しましょう！

- ✓ コピーして繰り返し使える
- ✓ 目視や聴感で確認できる簡易的な点検項目



簡単！

リフト機器チェックシート

点 検 日：

作 業 者：

設 置 場 所：

型 式：

使い方

- ・このページに直接記入する
- ・このページをコピーして使用する

①



汚れは水で流さず
拭いて落とす！

②



摩耗は
落下の原因！

③



規定圧に針があるか確認
水がない
事を確認
オイルが入って
いるか確認

④



本体やケーブルの
状態を確認

⑤



上昇・下降時に異音や
ガタガタしないか確認

⑥



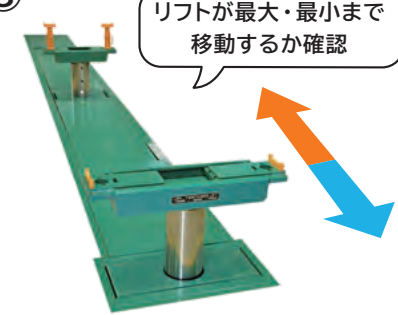
オイルや汚れが
ついていないか確認

⑦



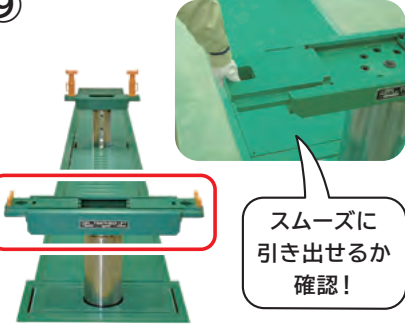
カチカチと
音が鳴って
いるか確認

⑧



リフトが最大・最小まで
移動するか確認

⑨



スムーズに
引き出せるか
確認！

チェック項目（目視・聴感）	床上	リンク	埋設	大型	良好	不良
① 本体に汚れやごみが付着していないか	●	●	●	●	☐	☐
② 受台及び受台ゴムの摩耗・損傷	●	●	●	●	☐	☐
③ フィルターレギュレーターの作動状態	●	●	●	●	☐	☐
④ リモコン及びケーブルの破損・摩耗		●	●	●	☐	☐
⑤ リフト上昇下降時の作動状況（異音・振動等）	●	●	●	●	☐	☐
⑥ 油圧シリンダー部のオイル漏れ・しみ	●	●	●	●	☐	☐
⑦ 安全装置の作動確認（上昇時カチカチと音がる）	●	●	●	●	☐	☐
⑧ リフト移動時の状況（異音・引っ掛かり等）				●	☐	☐
⑨ リフトスライド部の状況（錆・損傷等）		●	●	●	☐	☐

不良箇所・気になる事がありましたらお近くの支店・営業所までお問い合わせください。

簡単！

車検機器チェックシート

点 検 日：

作 業 者：

設 置 場 所：

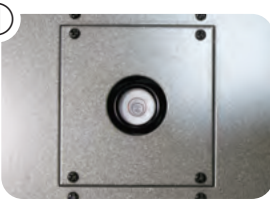
型 式：

使い方

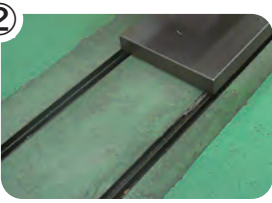
- ・このページに直接記入する
- ・このページをコピーして使用する

ヘッドライトテスター

①



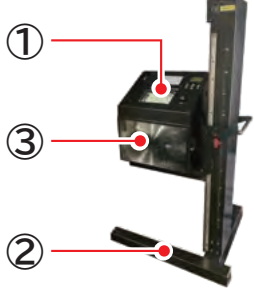
②



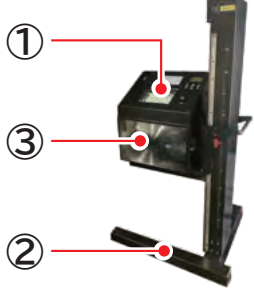
③



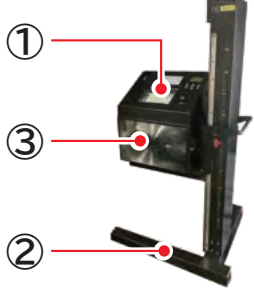
①



③

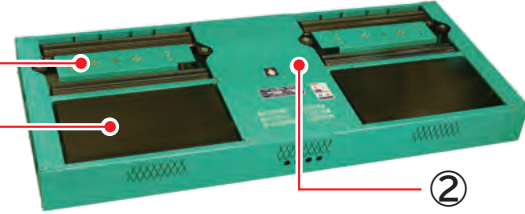


②

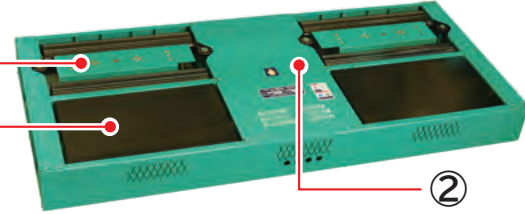


サイドスリップ／BSテスター

①



②



③



④



③



④



③



排気ガス測定器／オパシメーター

⑤



②



①



③



④



⑤



車 検 機 器	チェック項目（目視・聴感）	良好	不良
ヘッドライトテスター	① 水準器の気泡が円の中心に入っているか	☐	☐
	② レールや車輪に小石や泥が入っていないか	☐	☐
	③ フレネルレンズに汚れや曇り等がないか	☐	☐
サイドスリップテスター BSテスター	① 踏板・ローラーに汚れやガタがないか	☐	☐
	② エア漏れがないか	☐	☐
	③ エアフィルターに水気がないか	☐	☐
	④ オイラーにオイルが入っているか	☐	☐
排気ガス測定器 オパシメーター	① プローブに摩耗や亀裂はないか	☐	☐
	② フィルターに汚れはないか	☐	☐
	③ レンズに汚れはないか	☐	☐
	④ 電源ケーブル類に摩耗や損傷はないか	☐	☐
	⑤ 表示部はハッキリと見えているか	☐	☐

不良箇所・気になる事がありましたらお近くの支店・営業所までお問い合わせください。

簡単！

洗浄機器チェックシート

点検日：

作業者：

設置場所：

型式：

使い方

- ・このページに直接記入する
- ・このページをコピーして使用する

①

レベルゲージにて確認



②

繋ぎ目部分を
増し締め確認



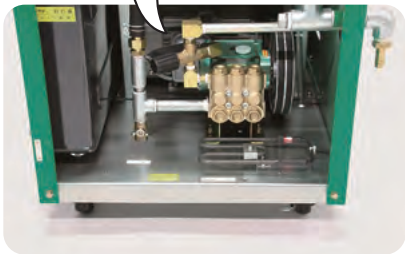
③

弱くなったり脈動が
発生しないか確認



④

錆の放置は故障の原因！



⑤





⑥

井戸水は詰まり
やすいので注意！



⑦



⑧



箇所	チェック項目（目視・聴感）	良好	不良
① 洗浄ポンプの給油	■ レベルゲージにて油量、汚れの確認	☐	☐
② 洗浄ガン・洗浄ホース	■ 水漏れや損傷はないか	☐	☐
③ 作動圧力	■ 脈動や弱くなる時はないか	☐	☐
④ 配管類	■ 水漏れ・錆付きがないか	☐	☐
⑤ バルト類	■ 緩み・損傷はないか・動作時に振動しないか	☐	☐
⑥ 給水フィルター	■ 汚れ・詰まりの確認	☐	☐
⑦ 燃料タンク	■ 1年以上経過した燃料を使用していないか	☐	☐
⑧ ボイラー	■ 動作時に煙突から白煙が出ていないか	☐	☐

 バルト類を点検する時は必ず本体の電源がオフになっているか確認をしてください

不良箇所・気になる事がありましたらお近くの支店・営業所までお問い合わせください。

簡単！

エアコンプレッサーチェックシート

点検日：

作業者：

設置場所：

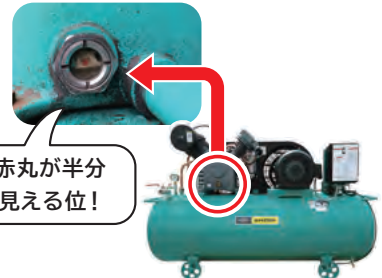
型式：

使い方

- ・このページに直接記入する
- ・このページをコピーして使用する

①

赤丸が半分
見える位！



②

水の色と
詰まりを確認！

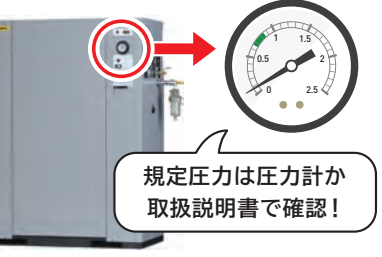


③



④

規定圧力は圧力計が
取扱説明書で確認！



⑤

針が青い範囲に
入っているか確認！



⑥

冬場は
凍結に注意！



⑦⑧

こまめな増し締めで
エア漏れ防止！



⑨

エアブローで
定期的に清掃！



⑩

ベルトが切れると
作動できないので注意！



箇所	チェック項目（目視・聴感）	エアコンプレッサー	エアドライヤー	良好	不良
オイル	① 油量計にて汚れ、量の確認	●		☐	☐
タンク	② ドレン（水）抜き・水の状態（濁っていないか）	●		☐	☐
本体	③ 異音・異常振動の確認	●	●	☐	☐
	④ 既定の圧力まで溜まると止まるか	●		☐	☐
冷媒温度計	⑤ メーターの針が青い枠に入っているか		●	☐	☐
オートエアトラップ	⑥ 詰まり・破損の有無	●	●	☐	☐
本体	⑦ エア漏れ確認	●	●	☐	☐
	⑧ 各部増し締め	●	●	☐	☐
フィルター	⑨ 詰まり・汚れの有無	●	●	☐	☐
駆動ベルト	⑩ 緩み・損傷はないか	●		☐	☐

 バルト類を点検する時は必ず本体の電源がオフになっているか確認をしてください

不良箇所・気になる事がありましたらお近くの支店・営業所までお問い合わせください。



ANZENメルマガ会員登録中

自動車業界の時事情報や、最新製品情報など様々なお役立ち情報を配信しています。
ご興味のある方はホームページ、もしくは最寄りの支店または営業所にお問い合わせください

詳しくは **ANZENニュース** で **検索**



ANZEN 安全自動車株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
TEL (03) 5441-3412 FAX (03) 5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店	札幌市中央区南19条西8-2-21	TEL (011) 511-6241(代)
・釧路営業所	TEL (0154) 24-0161(代)	
仙台支店	仙台市宮城野区日の出町2-2-8	TEL (022) 236-1211(代)
・盛岡営業所	TEL (019) 637-8711(代)	・郡山営業所 TEL (024) 942-5311(代)
関東支店	戸田市氷川町2-8-31	TEL (048) 447-6881(代)
・水戸営業所	TEL (029) 241-0932(代)	・宇都宮営業所 TEL (028) 635-8821(代)
・新潟営業所	TEL (025) 274-7131(代)	・高崎営業所 TEL (027) 384-3001(代)
東京支店	東京都港区芝浦4-16-25	TEL (03) 5441-3413(代)
・千葉営業所	TEL (043) 284-2600(代)	・横浜営業所 TEL (045) 391-9913(代)
名古屋支店	名古屋市中区金山5-12-3	TEL (052) 871-1811(代)
・金沢営業所	TEL (076) 248-0499(代)	・静岡営業所 TEL (054) 236-5066(代)
大阪支店	大阪市西淀川区御幣島2-1-14	TEL (06) 6472-0361(代)
・神戸営業所	TEL (078) 265-0375(代)	・岡山営業所 TEL (086) 434-0259(代)
・高松営業所	TEL (087) 843-6531(代)	・広島営業所 TEL (082) 832-3630(代)
福岡支店	福岡市東区多の津3-7-7	TEL (092) 623-4646(代)
・南九州営業所	TEL (099) 213-0762(代)	・沖縄営業所 TEL (098) 876-3873(代)
(株)松本安全	松本市大村383-11	TEL (0263) 45-2181(代)

2023年6月発行

保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、
保守点検サービス (有料) のご利用をおすすめします。
最寄りの支店または営業所にお問い合わせください

ANZENカスタマーサービス

0120-01-6361 (月～金 AM9:00～PM5:00)
当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは
上記までお気軽にどうぞ

- 商品の価格、詳細については最寄りの支店または営業所にお問い合わせください
- 仕様は予告なく変更することがあります
- 商品の色は印刷物のため実際の色と多少異なります